

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホームやすらぎ

作成日: 令和 7年 4月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	27	○個別の記録と実践への反映 個別記録が詳しく記入されていない。職員間で 記録を詳細にする統一化と情報の共有が出来 ていない。	全職員がこのことを把握し全員で共有し実 践に繋げることができる。	詳細を記入したことが分かるチェック用紙を作 成しサインをする。記録の方法においては、内 部研修を行う。	12ヶ月
2	34	○急変や事故発生時の備え 講習などの学習の機会はあるが実践力が身に ついていない。	急変時、事故発生時の初期対応の定期的な 訓練を行い、実践力を高める。	事故発生時の振り返り、原因究明、話し合いを 行う。急変時対応の実践研修を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。